



はじめに

みどり認定を受けるには、単発的に環境負荷低減に取り組んでいただくのではなく、その取組を続けられる持続性が重要です。そのために、手間を技術の力で省力化したり、販売面で差別化して有利販売を行ったりすることが考えられます。農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づき、消費者の選択につながる環境負荷低減の取組の「見える化」を進めています。環境負荷低減の取組の「見える化」に取り組んで、環境にやさしい農業の取組を販売面でアピールしてみませんか？

※みどり認定を受けなくても、「見える化」の取組を行えます。



テーマ：みどり認定と環境負荷低減の取組の「見える化」

環境負荷低減の取組の「見える化」とは：温室効果ガス（GHG）の削減と生物多様性の保全の取組を、取組の度合いに応じて算定シートで評価し、星の数で表示します。

GHGの削減度合い：化学肥料・化学農薬・化石燃料の低減、バイオ炭の施用、水田の水管理等が対象
 生物多様性の保全（米のみ）：江の設置、冬期湛水、魚道の設置などが対象

対象品目は23品目

米、トマト、キュウリ、ミニトマト、ナス、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、みかん、ぶどう、日本なし、もも、いちご、茶

ラベルの愛称は

みえるらべる

です！店頭で見かけた際は、ぜひ選んでいただくと幸いです！



見える化に
取り組みたい方は
[こちら](#)を確認



販売の事例

1 みどり認定者の環境負荷低減の取組の「見える化」活用の事例

(1) 広島県府中市 池田眞治氏

広島県府中市の池田さんは水稻（2.3ha）の栽培において、土づくりと化学肥料・化学農薬の使用低減（一部、化学肥料・化学農薬不使用）を行っています。環境負荷低減の取組の「見える化」について、GHG削減は化学肥料・化学農薬不使用、秋耕の実施が評価され、生物多様性保全は、化学肥料・化学農薬不使用と畦畔の無農薬管理が評価され、共に**星3つ**を取得されています。

環境負荷低減の「見える化」評価のポイント

GHG削減：化学肥料・化学農薬不使用、秋耕の実施、**生物多様性**：化学肥料・化学農薬不使用、畦畔管理

| 【みどり認定 計画イメージ】 | 計画申請時 (R5) → 目標 (R10) | 「見える化」 評価のポイント |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| (土づくり) ・牛ふん堆肥 (C/N比19.4) の施用 ・土壌診断は堆肥等散布耕起後1か月以上経過した12月に実施 | 有機質肥料 1.5 t/10 a → 1.5 t/10 a | |
| (化学肥料の施用減少) ・牡蠣殻、苦土粒の有機質肥料を施用 | 化学肥料 31 aは化学肥料不使用、 その他は5割減 | GHG減 生物多様性 |
| (化学農薬の使用減少) ・温湯種子消毒 ・畦畔の機械除草 ・秋耕による雑草発生量低減技術 | 化学農薬 ・31 aは化学農薬不使用、 その他は5割減 | GHG減 生物多様性 生物多様性 GHG減 |
| 環境負荷低減事業活動の取組面積 | 2.3ha → 2.3ha | |



池田さん



農作業の様子 1

★★環境負荷低減の取組の「見える化」、ココがいい！（池田さんインタビュー）

- ◎みどり認定と環境負荷低減の取組の「見える化」にそれぞれ申請された理由は？
「『安心！広島ブランド』特別栽培農産物認証事業体であり、取引先からエコファーマー（マーク使用）を求められることがあるため、今後の経営展開を見据えて認定申請しました。」
- ◎「見える化」をやってみてよかったことは？
「生産した農産物の宣伝につながり、知らない人からの声かけがありがたく、励みになりました。」



「みえるらべる」を貼った池田さんのお米

💡環境負荷低減の取組の「見える化」のポイント①

これまでの栽培記録を基に「見える化」の算定は可能です。商品PRでの活用だけでなく、自身の栽培方法がどの程度温室効果ガスを削減しているか「見える化」し、栽培手法を見つめ直す機会にもなります。

(2)岩手県盛岡市 キートスファーム

岩手県盛岡市のキートスファームは露地500a（かんしょ、長ねぎ、キャベツ、ジャガイモ、南瓜、白菜等）、ハウス28a（ミニトマト、レタス等）で有機JAS認証/岩手県特別栽培認証を取得しています。環境負荷低減には長年取り組んでおり、緑肥・野菜残渣のすき込みや、薪ストーブ+ヒートポンプの導入、生分解性マルチの導入、IPMによる生物多様性の保全等幅広い取組を行っています。「見える化」は自社の農産物のイメージアップを目的に、白ねぎ、かんしょ、ミニトマト（施設）で星3つを取得しています。

環境負荷低減の取組の「見える化」評価のポイント

GHG削減：化学肥料・化学農薬不使用、燃料・電力使用量の使用削減

【みどり認定 計画イメージ】

| a. 土づくり+化学肥料・化学農薬の低減 | | 計画申請時 (R5) → 目標 (R10) | 「見える化」 評価のポイント |
|-------------------------|----------------------------------------------|----------------------------|-------------------|
| かんしょ等 ミニトマト、 白ねぎ、 | (土づくり) ・緑肥作物、野菜残渣のすき込み ・豚ふん堆肥の散布（3～5月） | 有機質肥料 2 t/10a → 1 t/10a | |
| | (化学肥料の施用減少) ・不使用 | 化学肥料 不使用 | GHG減 |
| | (化学農薬の使用減少) ・慣行栽培の50%削減 | 化学農薬 慣行30%減 → 慣行70%減 | GHG減 |
| 環境負荷低減事業活動の取組面積 | | 205a → 528a | |

今年度より白ねぎ、かんしょ、ミニトマトの3品目で、出荷タイミングに合わせて三ツ星のみえるらべるを貼って配荷（出荷）します！

| b. GHGの削減、g.排プラスチックの削減、 h. 生物多様性の保全+化学肥料・化学農薬の低減 | | 計画申請時 (R5) → 目標 (R10) | 「見える化」 評価のポイント |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| ミニトマト | (温室効果ガスの排出量の削減) ・薪ストーブ+ヒートポンプの加温設備を導入 | 薪 使用量 薪ストーブ使用 8 t → 6 t | GHG減 |
| かんしょ等 | (生分解性マルチの使用) ・生分解性プラスチックのマルチへの切り替え | 生分解性マルチの使用率 0% → 70% | |
| ミニトマト等 | (生物多様性の保全) ・天敵製剤（コレマンアブラバチ）の使用 ・クロマルハナバチによる受粉 | ハウス栽培で使用、 農薬やホルモン製剤不使用 | |



キートスファーム

★★環境負荷低減の取組の「見える化」、ココがいい！（キートスファームインタビュー）

今年のミニトマトの販売開始は6月中旬予定しているので、今後のイメージアップに期待しています！株式会社マイヤ/イオン東北(株)/九州福岡市グリーンコープで販売を行っていますが、今後私たちの環境負荷低減の取組を「見える化」できる良いツールとして活用し、消費者にPRしていきたいです！

💡環境負荷低減の取組の「見える化」のポイント②

販売の際に、他の商品との差別化を図ることが可能です。GHG削減への貢献を定量的に算定し、星の数で分かりやすく消費者にアピールしてみませんか？

見える化に取り組んでみたい方には、農林水産省が算定からみえるらべるの表示まで しっかりサポートします。 お問い合わせは[こちら](#)からお願いします！



2 地方農政局若手の取組

東北農政局みどり戦略啓発キャラクター『みっちゃん』誕生！

東北農政局では、「みどりの食料システム戦略をPRできるような東北農政局独自のキャラクターを作ってはどうか。」という若手職員からの提案を活かし、局の全職員を対象に募集・投票を実施した結果、『みっちゃん』が誕生しました。

『みっちゃん』は、職員の名刺、局作成の資料等に使用しています。さらに、ステッカーも作成し、生産者、消費者の皆さんにお会いする機会に配布するなど、活用を進めています。

「みどりの食料システム戦略」を身近に感じてもらえるよう、今後も『みっちゃん』を活用していきます。



ペンギンとカッパの子孫
お腹は東北の耕地面積約7割を誇る水田
手足はエリートツリーを表しています！
性格は頑張り屋さんで汗かき
「み」と書かれたトレードマークの
ハチマキが特徴

『みっちゃん』について
詳しくはこちら→
(東北農政局HP)



3 みどりの食料システム戦略グループの動き

(1) 基盤確立事業を認定しました

5月2日に基盤確立事業認定事業者として以下の2社を認定しました。みどり投資促進税制対象機械カタログはこちらからご覧ください。



みどり税制対象
機械カタログ

資材

そおりサイクルセンター



剪定枝等を原材料とした肥料について、草木を粉砕し堆肥化する設備及び堆肥ペレットを製造する設備を導入し、普及拡大に取り組む。

三和油脂



こめ油の副産物である脱脂米糠や工場排水処理で生じる有機汚泥を活用した堆肥ペレット等を製造し、普及拡大に取り組む。

(2) みどり認定を受けた生産者の数を公表しました

みどりの食料システム法に基づいた生産者認定（みどり認定）について、認定者数を公表いたしました。令和6年5月現在で1万5,000人以上の生産者を認定しております。内訳はホームページに掲載しております。

詳細はこちら



(3)説明会・研修会などに講師を派遣します！

みどりの食料システム戦略や認定制度、クロスコンプライアンス等について、農林水産省のみどり戦略担当が御説明します。J-クレジット制度や「見える化」の取組も含め、御要望がありましたら、お近くの地方農政局のみどり担当窓口までお気軽にご相談ください。

【最近の主な周知活動】

5/29 【岩手県】いわてグリーンアカデミー（鎌田）

(4)林業・漁業・畜産事業者向け「みどり認定」のチラシを掲載しました。

林業・漁業・畜産事業者向けの「みどり認定」のチラシを掲載しましたので、ぜひご覧ください。

※林業・水産業はみどり認定を行っていない都道府県もございますので、都道府県にお問い合わせください。

林業関係者
向け



漁業者
向け



畜産事業者
向け



◇御意見・御感想等をお寄せください◇

本メルマガに関する御意見・御感想や取り上げてほしいテーマのほか、御自身の所属する都道府県・市町村の取組（300字程度）を掲載してほしい！といった声もお待ちしております。以下のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス：midorihou_kankyo_bio@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

(担当：藤田、渡邊)

TEL：03-6744-7186



みどり認定の最新情報をお届け！「みどり通信」

